

問 冬季国体を震災復興大会と位置付けは

答 元気な白馬村を全国に発信します



田中榮一議員

【平成28年度国体冬季スキー競技会について】

問 大会を震災復興競技会と位置づけ、村民総参加で選手役員をお迎えしたらと思うが。

村長 復興を目指す元気な白馬村を発信していきたいと考えており、大会大成功に向けて全村で盛り上げていきたいと考えています。

【青少年育成について】

問 長野県が制定しようとしている性問題の条例について、村長の考えは。

村長 県では、この条例のモデルについて、県民との意

見交換会を実施し総合的判断するということで示されています。村としても県の判断を注視し、必要な事項があれば決めていきたいと思っています。

問 「ネット・ここが心配」今、大人ができること」と題した10月開催された青少年村民大会における記念講演が好評であった。参加者が少なく、再度企画されたらどうか。

教育長 この問題は、今後でも取り扱っていかねければと考えています。青少年村民会議の理事会や学校とも相談しながら、講演の実施に向けて検討していきたいと考えています。

【白馬村地域防災計画について】

問 28年度に新たな地域防災計画を策定予定と聞くが、現在までの準備状況は。

村長 災害対策基本法の改正や、気象業務法の改正による特別警報の新設、長野県の地域防災計画との整合性を図る

など、大きな規模の改正が必要になってきます。避難所についても長野県から土砂災害防止法に基づく地滑り警戒区域の指定がされたことで、「地滑り」の危険がある区域の見直しが必要と考えています。また今回の震災の教訓や検証とともに、白馬村の特性を加味した内容の見直しが重要であると認識しています。

問 策定にあたり、コンサルタント会社に助言を求めるとの。

村長 地域の実状把握、国や県の動向などを十分に研究するなど、相当の事務量になる

ことが想定されます。地域の声が尊重されるような仕組みも検討しつつ、コンサルタント会社への業務委託によって、計画の見直し作業を進めていきたいと考えています。

【特定健診について】

問 今年度初めて実施された若年層の特定健診の受診率は。

村長 対象者858名に対し受診者は106名で、受診率は12・4%となりました。男性の受診率は10・6%、女性は14・1%でした。

問 健診結果から読み取れるものは。

村長 若い方が、思いのほか健康管理に気を配られていることが分かりました。早期から年に1回は健診を受けるという習慣を身につけていただき、将来的に特定健診の受診率向上につながっていけばと期待しています。



鹿島槍カクネ里 11月1日 大遠見にて